留学報告書（バレンシア国際カレッジプログラム 24 期）

総合科学部　国際教養コース　4 年　谷　優希

① 事前準備

【メールに要注意】
プログラムの参加が決定してから出国に近づくにつれて、ディズニーやバレンシアカレッジから大量のメールが送られてきます。ディズニーからは、寮の部屋/ルームメイト等の希望やデポジットの支払い、納税に必要な情報の登録（ディズニーで働くため）など、現地に着いてからスムーズにプログラムを始めるために欠かせない重要な手続きがたくさん求められます。それに加えて、バレンシアカレッジからもビザの手続きや事前オンライン講座への参加等が求められるため、ディズニーとバレンシアカレッジの両方からの連絡を見落とすことなく、確実にすべての出国前手続きを期限内に完了させることが大切です。

【クレジットカード】
滞在中は、ディズニーからデビッドカードをもらい、そこに働いた分のお給料から寮の家賃を天引きされたお金が毎週入ってきます。ロールや出勤日数によって個人差はありますが、私の場合毎週大体$300 くらい自由に使えるお金として入ってきていました。スーパーでの買い物など日常生活のほとんどでこのカードは不自由なく使えますが、高額の支払いだったり一部のオンラインサイトでは使えなかったりする上、初週のお給料が振り込まれるまでにもある程度期間がかかるため、日本で数枚クレジットカードを作っておくべきです。

【持っていくべきもの】
・サングラス：
遮光性・UV カット機能がしっかりあるもの！フロリダの日差しはとても強いです。
・折り畳み傘：
紫外線対策にはもちろん、6・7 月になると毎日のように夕方頃急な大雨が降るので持っておくと便利です。
・使い慣れた薬：
現地の薬は体に合わなかったり高額だったりするため、頭痛薬や胃腸薬、風邪薬等基本的な薬は慣れているものを持って行くべきです。
・黒の靴下：
ほとんどのロールでコスチュームの一部として必要です。現地で調達することもできますが、サイズが合わなかったり初日の出勤までに意外と時間がなかったりするため、日本から大量に買って持っていくことをおすすめします。

① バレンシアカレッジについて

【授業】

プログラム期間中は、ディズニーでのインターンシップに加えて、週一回コロンビアの学生と一緒にバレンシアカレッジの授業を受けます。先生方が寮の敷地内にある教室に来て授業をしてくださるので、自分たちで大学まで行く必要はありません。授業は、Leadership と Business Management の 2 つです。1 コマ 3 時間で、1 コマ目が 10：00～13：00、お昼休憩を挟んで 2 コマ目が 14：00～17：00 です。こまめにテストがありますが、毎回の授業をしっかり受けて要点を理解していれば問題なく合格することができます。

最後の授業で先生と

ユニバーサルスタジオでの課外授業で

【オンライン課題】

授業に加えて、毎週オンラインの課題が出されます。課題は、アメリカと自国のビジネスを比較して自分の意見を投稿し、クラスメイトと意見交換をし合う、というものです。加えて 2 回ほど、Reflection Paper といって少し長めのレポート、そして最後にプレゼンテーションスライドを提出することになります。〆切にはシビアなので、提出期限を守って早めに提出することを心掛けてください。

【アクティビティ】

月に 1 回、授業とは別の日にアクティビティの日が設けられ、ディズニーの敷地外へフロリダの魅力を体感しに行くことができます。アイスホッケーの試合を見に行ったり、美術館を訪れて歴史や文化を学んだり、ユニバーサルスタジオで 1 日遊びまくったりしました。普段の生活の中ではなかなかディズニーの外に出ることがないため、授業の一環としてフロリダの様々な観光地を訪れることができたのはとても楽しかったです。

アイスホッケーの試合会場で

ユニバーサルスタジオのエントランスで

② ディズニーワールドでのインターンシップ

Role 1：Merchandise

Yacht Club のお土産屋さん

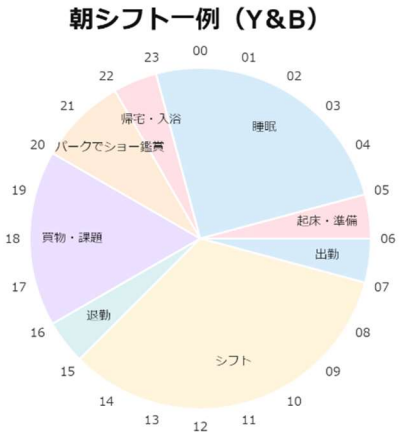
Beach Club 外観

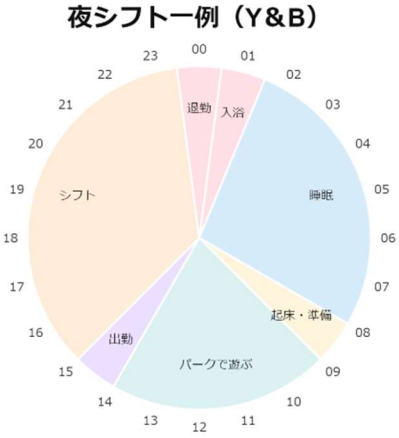
【EPCOT Resort Area】

Yacht & Beach Club Resort

一つ目のロールは、ディズニーホテルのうちの一つである Yacht＆Beach Club Resort 内のお土産屋さんでした。リゾートホテルはパークに比べて混んでいないため、ゲスト一人ひとりとゆっくりお話を楽しんで仲良くなれるのが最大のメリットです。特に私が担当したホテルは長期間滞在するゲストも多く、ステイ中に私の顔と名前を覚えて毎晩お店に立ち寄り、話しかけに来てくれることもよくありました。そんなゲストから、チェックアウトの日にお礼のメッセージをもらったときは大きなやりがいを感じ、とてもうれしかったです。

シフトのほとんどは夜で、1 日 6～8.5 時間働いていました。ホテルはパークの開園前・閉園後にピークを迎えるため、日中は訪れるゲストが少なくとてもゆったりした時間が流れますが、早朝の出勤や日付を越えての退勤が当たり前であることが特徴の一つです。





Beach Club コスチューム

一緒に働いた同僚と

Role 2：Attraction

【Magic Kingdom】

Big Thunder Mountain Railroad

/Frontierland Guest Flow

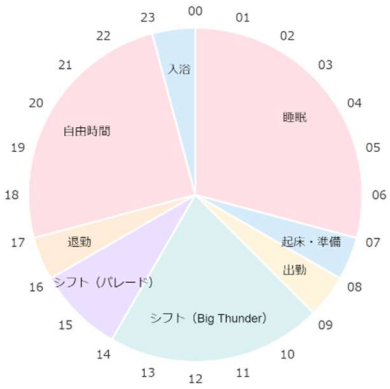
Big Thunder Mountain Railroad

Festival of Fantasy Parade

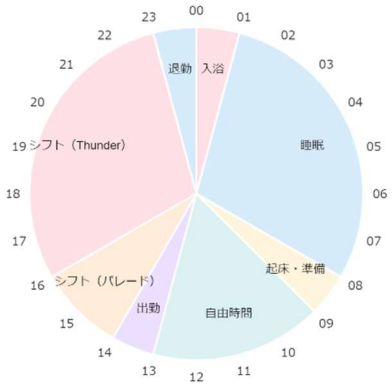
二つ目のロールは、マジックキングダムにあるジェットコースター、ビッグサンダーマウンテンでした。実際にゲストが乗った乗り物を操作するため、常に安全を第一に考えなければならない、責任感・緊張感と常に隣り合わせの非常に大変な仕事でした。しかし、ゲストがみんな笑顔で楽しんでいる姿を見ると私も元気をもらって大きなやりがいとなっていました。またこのアトラクションの運営以外に、Guest Flow と呼ばれるロールでお昼のパレードの準備・運営も行っていました。パレードを楽しんでいるゲストの笑顔を間近で見られるのがこのロールの特権です。

シフトは日中だったり夜だったりと日によってバラバラで、1 日に 6～10 時間働いていました。ジェットコースターの運営のみを担当する日もあれば、パレードと掛け持ちで担当する日もあり、日によって様々なパターンのシフトがあるのが特徴的です。

朝シフト一例（Thunder）



夜シフト一例（Thunder）

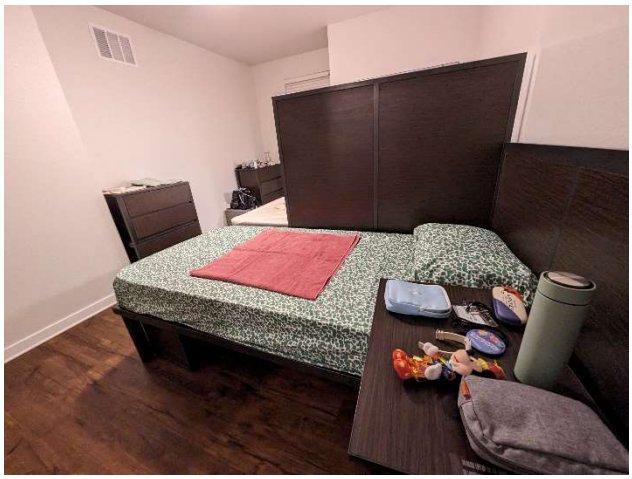


早朝のゲストがいないパークで

Big Thunder Mountain Railroad コスチューム

③ 寮について

プログラム期間中は、参加者は全員 Flamingo Crossing Village というプログラム生専用の寮で生活します。この寮は比較的最近になって完成したため、とても綺麗で設備も整っていますが、その分ある程度費用もかかります。私はアメリカ人のルームメイト 3 人と一緒に 4 人でルームシェアをしていました。ベッドルームは 2 人ずつに分かれており、キッチンやリビングルーム、洗濯乾燥機等の共有スペースを 4 人全員でシェアしていました。費用は 202 ドル/週です。1 人部屋もあるようですが、数が少なく希望が通りづらい上費用もかかるためほとんどの学生がこのタイプの部屋で住んでいました。この寮は East サイドと West サイドに分かれており、East サイドには授業を受ける教室があったり、ほとんどの寮のイベントはこちら側で行われたりとメインの建物になっています。一方 West サイドは East サイドに比べると少し敷地が小さいですが、目の前にスーパーがあったり East サイドまでも寮生専用のバスで 5 分ほどであったりと特に不便を感じることはありません。なお、どちらのサイドにもプール・ジム・バーベキュー場・共有のミーティングスペース等無料で自由に使える施設がたくさんあり、寮内でも非常に充実した毎日を送ることができます。



ベッドルーム

寮生限定のグリーティングイベント

24 時間いつでも利用可能なジム

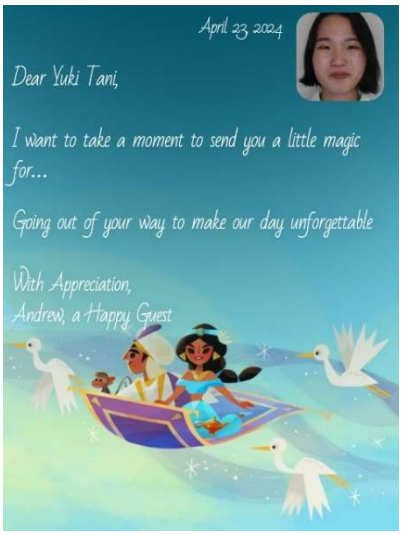
同期の日本人メンバーで BBQ

④ プログラム中に経験したあれこれ

★ディズニーキャストとして働くということ

ディズニーに訪れるゲストはもちろんですが、働いているキャストもみんな、本当に心が広く優しい人ばかりです。困っていると誰かがいつも声をかけて助けてくれるし、何かミスをしてしまってもそれを責められることはなく、「次はこうしよう！」とアドバイスをして励ましてくれるとても居心地のいい環境でした。ジェットコースターを運営するにあたって覚えなければならない手順がたくさんあり何度も同じ質問を繰り返す私に、トレーナーは嫌な顔をせず“That's why we're here for!（そのために僕たちはいるんだから！）”と笑顔で何度も丁寧に教えてくれました。激務で難易度が高いと言われるアトラクションキャストをやり切れたのは彼らのおかげだったと心から思います。

また、キャストとして働く毎日はたくさんの素敵なゲストとの出会いであふれています。中でも印象に残っているのが、お土産屋さんで出会った男の子のゲストとの出会いです。私が偶然レジを担当し、男の子がディズニーワールドを初めて訪れたことを知った私は、これからのステイを楽しんでほしいという気持ちを込めて“This is for you, from Mickey!”とミッキーのステッカーを渡しました。そうすると緊張していた男の子の表情がぱっと明るくなり、満面の笑みで「ありがとう！」と手を振りながら帰っていきました。そして次の日、またその次の日…と、その男の子はチェックアウトの日までお店に来てくれ、私に“Hi, Yuki!”と毎日私に会いに来てくれたのです。このように、自分が何気なくとった行動でゲストの笑顔をつくることができる、そしてその瞬間に立ち会うことができるのはディズニーで働く特権だと思います。自分にとっては毎日出勤して接客している多数のゲストのうちのたった 1 人であっても、そのゲストにとっては人生でたった 1 回きりのディズニー旅行だったり、私がその日初めて会うディズニーキャストだったりと、自分自身がそのゲストの人生において一生の記憶に残るキャストになり得るんだ、ということを実感し、「常に初心を忘れず一人ひとりのゲストに自分ができる最大限のハピネスを届けよう！」と思わせてくれるきっかけの出来事となりました。後日男の子のお母さんからリーダーのもとへお礼のメッセージが届き、同僚みんなからも自分のディズニーキャストとしてのふるまいを褒めてもらえたことは本当にうれしかったです。



実際にゲストからもらったメッセージ

★日本人キャストとして働く特権

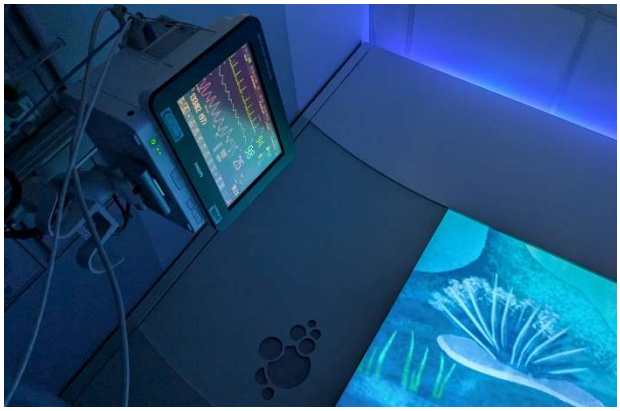
キャストはみんなそれぞれ、名前と出身地が入ったネームタグをつけてオンステージに立ちます。プログラム中、私の“Japan”という文字を見て、「日本大好きだよ！」と声をかけてくれるゲストがたくさんいました。そこから、東京ディズニーリゾートにも行きたいから色々教えて！と会話が広がったり、ゲストが日本語で挨拶してくれたりとたくさんの素敵な出会いがありました。また、日本人ゲストと出会って助けることができたときにもとてもうれしかったです。「日本語の文字を見て安心しました～！」と言って喜んでもらえたり、一緒に写真を撮ってもらえたり、プレゼントをくれたりと私も毎日ゲストから幸せをもらっていました。

一番の宝物 ネームタグ！

★病気には要注意

滞在中、残り 1 か月というところで体調を崩し、肺炎と診断され 2 週間ほど療養のために出勤することができませんでした。日本でもなったことのない肺炎で、しかも重症度が高かったためとても不安で心細かったです。現地の病院にも 4 回かかり、血液検査や CT 検査、点滴等たくさんの検査・治療を受けました。そのため、日本で保険に入っていたことが本当に救いとなりました。アメリカは日本に比べて医療費や薬剤費がとても高額です。海外に渡航する際は、必ず日本で保険に入っておいてください。私は大学生協の保険に加入していたので、現地の日本人エージェントが近くの病院と連携してくれスムーズに受診ができました。高熱で動けなかった私の代わりに、買い物に行ったりご飯をつくってくれたりして助けてくれたルームメイトや友達、同僚のおかげで無事元気になって仕事にも復帰し、パークでもギリギリ最後に遊びつくすことができました。本当にみんなには感謝しています。「もしも」に備えて、万全の準備をして行きましょう！

ゲストからもらったプレゼント


病室での思い出

⑤ メッセージ

他にも多くの留学プログラムがありますが、現地の大学で学びながらディズニーワールドのキャストの一員として実践もできる、このようなプログラムは唯一無二です。実際に私は、語学力の向上はもちろんですがそれ以上に、**国境を越えたコミュニケーション力、自分で課題を発見して解決のために行動する力、実践的な接客スキルなどたくさんの面で自己成長を実感し、自分に自信を持つことができました。**

とにかく、少しでも迷う気持ちがあるならチャレンジしてみてください！今しかできないこの貴重な機会を、ぜひもっと多くの徳大生に知ってもらいチャンスをつかんでほしいと思っています。このプログラムに参加することができれば、そこではディズニーを通してつながる世界中の人たちとの素晴らしい出会いがたくさん待っています。みなさんも将来への第一歩を、このバレンシア国際カレッジプログラムで踏み出してみませんか？必ず、皆さんの人生において一番と言っても過言ではないほど印象に残る大きなチャレンジになることを約束します！

最後に、私がプログラムに参加するにあたって選考開始前からずっと相談に乗っていただき、渡航までたくさんのサポートをしてくださった教職員のみなさんをはじめとするこの留学にかかわってくださったすべての皆様に、心から感謝を申し上げます。
本当にありがとうございました。